

畦塗機

COL

取扱説明書



ご使用前に必ずお読みください

株式会社 富士トレーラー製作所

はじめに

このたびは、畦塗機COLをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

この取扱説明書には、正しい取り扱い方法と安全に操作する方法について詳しく記載してあります。

畦塗機をご使用になる前に、本書全ての項目を熟読の上よくご理解いただき、安全に作業を行ってください。

◎ 注意表示について

使用上、特に重要と考えられる注意事項について下記のように表示しています。

必ず守り作業をしてください。

⚠ 危険 注意事項を守らない場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

⚠ 警告 注意事項を守らない場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

⚠ 注意 注意事項を守らない場合、ケガを負うおそれがあるものを示します。

◎ 本製品(畦塗機COL)の使用目的

- 水田の畦塗り作業に使用し、使用目的以外の作業には決して使わないでください。
- 畦塗機は、決められた適応馬力で設計しています。
適応馬力の範囲内で使用してください。範囲を超えての使用は、故障の原因になります。
- 畦塗機は「標準3点リンク」「特殊3点リンク」で設計しています。他の規格では、装着ができません。
- 畦塗機の改造は、決して行わないでください。

◎ 安全対策について

- 本作業機に関する危険をすべて予測することができません。また、取扱説明書や警告ラベルでその危険をすべて伝えることができません。作業機の運転、保守作業については、一般的に求められる安全対策の配慮が必要です。

目次

安全に作業をするまえに	1	10. 土取り量の調節(アジャスター調節)	11
主要各部の名称と働きについて	3	11. サイドシャッターの調節	11
トラクターへの装着の仕方	4	12. サイド尾輪の調節(オプション)	12
1. トラクター装着の規格について	4	作業時の注意	12
2. 日農工標準3点オートヒッチ/ 日農工特殊3点オートヒッチの装着手順	4	手入れと点検の仕方	12
3. 日農工標準3点オートヒッチ/ 日農工特殊3点オートヒッチの取外し手順	5	1. オイルの点検	12
4. 標準3点リンクの装着手順	5	2. グリス・オイルの点検	13
5. 標準3点リンクの取外し手順	7	3. チェーンテンションの点検	14
6. スライダーモーター配線	7	4. 水洗い	15
移動時の注意	8	5. 樹脂羽根の保管	15
圃場の条件	8	6. 消耗品について	15
運転作業及び畦塗り作業時の調節の仕方	8	オプション	16
1. トラクター各部調節	9	ワンポイントアドバイス	17
2. 畦高さの調節	9	1. 畦が固く締まらない	17
3. 畦裾位置	9	2. 畦上部肩が固く締まらない	17
4. 進行方向にたいしての前後・左右の水平調節	9	3. 畦の幅が広がってしまう	17
5. スライダーの調節	9	4. メインホッパー内で土がたまってトラクターが曲がる	18
6. 畦上面削り装置の調節	10	5. 圃場の条件は良いが土が足りず畦ができない	18
7. 安定板の調節	10	6. 作業中、畦塗機から異音がする	18
8. シャーボルト付ドライブシャフト	10	7. スライダーモーターを動かすと異音がする	18
9. ガイドプレートの調節	11	8. スライダーモーターが動かない	19
		配線図	19
		畦塗機の吊り位置	19

【 安全に作業をするまえに 】

本機をご使用になる前に「取扱説明書」をよく読み、注意事項を守り安全に作業をしてください。

運転前の注意事項



1) こんなときは運転しない

病気のときは運転しないでください。

飲酒時や気分がすぐれず集中できないときは運転しないでください。

2) 作業時の服装

だぶついた服装での作業はしないでください。

サンダルなどの脱げやすい靴は履かないでください。

ヘルメットを着用してください。

▲機械に巻き込まれたり滑って転倒する原因になります。

3) 畦塗機を他人に貸すときは取扱の説明をする

畦塗機を他人に貸すときは操作の仕方を教え取扱説明書を必ず読むようにしてください。

▲誤った使い方をすると事故や機械の破損をまねくおそれがあります。

4) トラクターに畦塗機を装着する前には、トラクターの取扱説明書を読む

トラクターに畦塗機を装着する前には、トラクターの取扱説明書を読み畦塗機に適した操作方法を確認してから畦塗機を装着してください。

▲誤った使い方をすると事故や機械の破損をまねくおそれがあります。

5) 重量バランスを確認して調節をする

トラクターに畦塗機を装着するときは、重量バランスを確認して、必要な場合はトラクターにバランスウェイトを取り付けてください。

6) はし板(アユミ板)は強度・長さ・幅の十分余裕のあるものを使用する

積み込み、積み降ろしをするとき、または圃場で使用するときは、確実に固定してから低速で行ってください。はし板(アユミ板)は段差の4倍以上の長さのものを使用してください。

▲事故や機械の破損をまねくおそれがあります。

7) スライダーモーターの使い方

スライダーモーターは、直流12V以外は使用しないでください。

火災・感電の原因になります。

運転前の注意事項



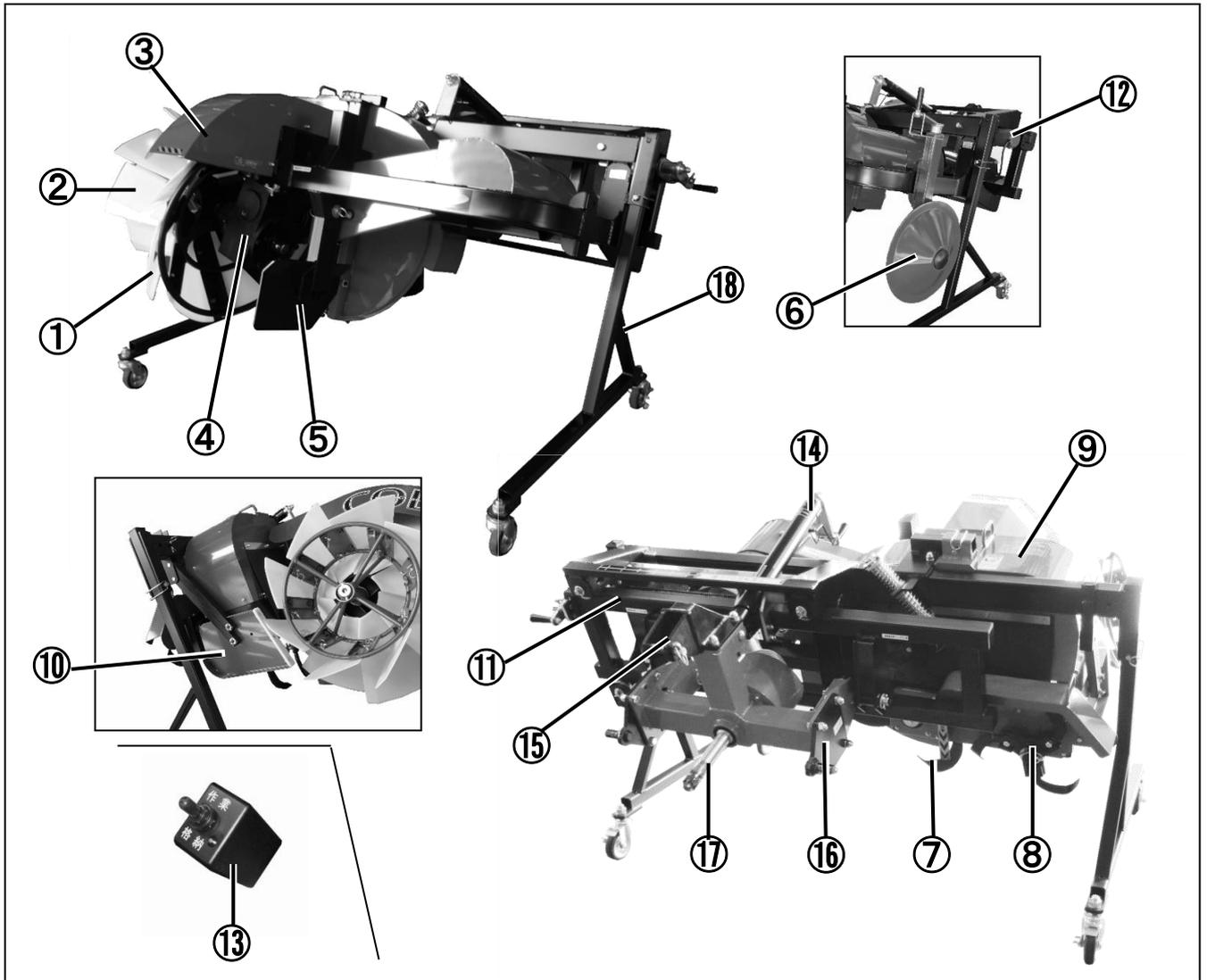
1) 畦塗機装着時には公道の走行は禁止

畦塗機装着時には、公道の走行は禁止です。走行はしないでください。必ず畦塗機を取り外して走行してください。

▲道路運送車両法違反になります。事故を起こすおそれがあります。

<p>運転前の注意事項</p> <p> 注意</p>	<p>2) 畦塗機の改造は禁止</p> <p>畦塗機の改造はしないでください。純正部品以外は使用しないでください。</p> <p>▲事故や機械の破損をまねくおそれがあります。</p>
<p>点検・整備の注意事項</p> <p> 警告</p>	<p>1) 点検・整備・修理・掃除は、トラクターのエンジンを停止させる</p> <p>点検・整備・修理・掃除をトラクターに装着している状態で行う時は、トラクターのエンジンを停止してください。</p> <p>▲機械に巻き込まれて事故を起こすおそれがあります。</p>
<p>点検・整備の注意事項</p> <p> 注意</p>	<p>1) 点検・整備をする</p> <p>畦塗機を使用する前と後には、点検・整備をしてください。</p> <p>▲機械の早期破損をまねくおそれがあります。</p> <p>2) 点検・整備は平らで安定している場所で行う</p> <p>交通の障害にならず安全で、機械が倒れたり動いたりしない平らで安定している場所で行ってください。</p> <p>▲機械に巻き込まれて事故を起こすおそれがあります。</p>
<p>作業時の注意事項</p> <p> 警告</p>	<p>1) 畦塗機の脱着は、平らで安定している場所で行う</p> <p>畦塗機の脱着は、平らで安定している場所で行ってください。</p> <p>2) トラクターと畦塗機の周辺に人を近づけない</p> <p>トラクターと畦塗機の周辺に人が入らないようにしてください。</p> <p>▲事故を起こすおそれがあります。</p> <p>3) 畦塗機の下に潜ったり足を入れない</p> <p>畦塗機の下に潜ったり足を入れないでください。</p> <p>▲事故を起こすおそれがあります。</p> <p>4) 畦塗機に巻き付いた草やワラを取るときは、エンジンを停止させる</p> <p>回転部分に巻き付いた草やワラを取るときは、トラクターのエンジンを停止させてから作業を行ってください。</p> <p>▲回転部分に巻き込まれて死亡事故やケガを負うおそれがあります。</p>
<p>作業時の注意事項</p> <p> 注意</p>	<p>1) 畦塗機の調節はエンジンを停止して行う</p> <p>畦塗機の調節をするときは、トラクターの駐車ブレーキをかけてPTO変速レバーを中立にして、エンジンを停止してから行ってください。</p> <p>▲事故を起こすおそれがあります。</p>

【 主要各部の名称と働きについて 】



① 側面ディスク

畦側面を整形します。

② 上面ドラム

畦上面を整形します。

③ ディスクガード

作業中の安全を高めます。

④ ウォーム減速機

⑤ 安定板

畦塗機及びトラクターの直進性を良くします。

⑥ サイド尾輪(オプション)

畦塗機及びトラクターの直進性を良くします。

⑦ ロータリー

- 1) 元畦を削り取り土を細かくします。
- 2) 土を畦上面に集めます。

⑧ 畦上面削り装置

- 1) 元畦上面の草を削り取ります。
- 2) 元畦上面の凸凹をきれいに整えます。
- 3) 元畦の盛土のなじみを良くします。

⑨ ホッパー

土を畦上面に留める働きをします。

⑩ サイドシャッター

ロータリー爪で削られた土を元畦にためる働きをします。

⑪ スライダー

- 1) 畦塗機をスライドできます。
- 2) トラクター幅に合わせた調節をします。

⑫ スライダーモーター

スライダーを動かす為に使用します。

⑬ スイッチ

スライダーモーターを動かすスイッチです。

⑭ アジャスター

- 1) トラクター装着時の姿勢の調節をします。
- 2) 土取り量の調節をします。
- 3) 作業時、前後バランスの調節をします。

⑮ ヒッチ金具(トップマスト)

⑯ ヒッチ金具(ロアリンクブラケット)

⑰ ヒッチ金具(PTOシャフト)

オートヒッチ方式、3点リンク直装方式、各種で形状が違います。

⑱ スタンド

【 トラクターへの装着の仕方 】

1. トラクター装着の規格について

- ・ 日農工標準3点オートヒッチ
- ・ 日農工特殊3点オートヒッチ
- ・ 標準3点リンク

以上の規格で設計しています。他の規格では装着ができません。

注意

トラクター装着が規格に合っているかトラクターの取扱説明書を読んで確認してください。
畦塗機のヒッチ金具も規格によって違います。合わない場合は取付ができなかったり
畦塗機の破損の原因になります。

2. 日農工標準3点オートヒッチ／日農工特殊3点オートヒッチの装着手順

警告

- ・ 畦塗機の装着は平らで安定している場所で行ってください。
- ・ トラクターと畦塗機の周辺に人が入らないようにしてください。
- ・ 畦塗機の下に潜ったり足を入れないでください。

注意

トラクターにより自動昇降装置が付いている機種があります。必ずOFFにしてください。
または、油圧レバーはゆっくり上げトラクターのフェンダーやキャビン等に接触しないか
確認してください。

1) 畦塗機の装着姿勢

畦塗機本体とPTOシャフトが平行の状態が、基本脱着姿勢になります。(P.3 を参照してください)
脱着しにくい場合、傾きの過不足分をアジャスターを回して調節してください。

2) トラクター側ヒッチのロックを解除し、畦塗機ロアリンクブラケットが装着可能な状態にしてください。

3) トラクターをゆっくりバックさせながら油圧レバーを下げ、トラクター側のトップフックを畦塗機のトップマストの
ピンの下にくぐらせてください。

4) 畦塗機ロアリンクブラケットが、左右きちんとトラクター側ヒッチにロックがされている事を確認してください。
ロアリンクブラケット及びPTOの補助シャフトが入らない場合は、トラクターの右側リフトロッドを伸縮させて
傾きを調節してください。

5) スタンドを取り外してください。

3. 日農工標準3点オートヒッチ／日農工特殊3点オートヒッチの取外し手順

警告

- ・ 畦塗機の取外しは平らで安定している場所で行ってください。
- ・ トラクターと畦塗機の周辺に人が入らないようにしてください。
- ・ 畦塗機の下に潜ったり足を入れないでください。

注意

- ・ トラクターのPTO変速レバーを中立にし、取外してください。
誤操作でPTO軸が回転し事故を起こすおそれがあります。

- 1) 畦塗機にスタンドを取付けリンクピンで固定してください。(前後の向きに注意してください)
- 2) トラクター側ヒッチのロックを解除してください。
- 3) 畦塗機をゆっくり下げてください。
- 4) トラクター側ヒッチから畦塗機ロアリンクブラケットが抜けて、トップマストのピン(畦塗機側)からトップフック(トラクター側)が外れるのを確認してからゆっくりとトラクターを前進させてください。
外れない場合はスタンドの傾きが適切かどうか、トラクターヒッチが左右水平になっているか確認してやり直してください。

4. 標準3点リンクの装着手順

警告

- ・ 畦塗機の装着は平らで安定している場所で行ってください。
- ・ トラクターと畦塗機の周辺に人が入らないようにしてください。
- ・ 畦塗機の下に潜ったり足を入れないでください。

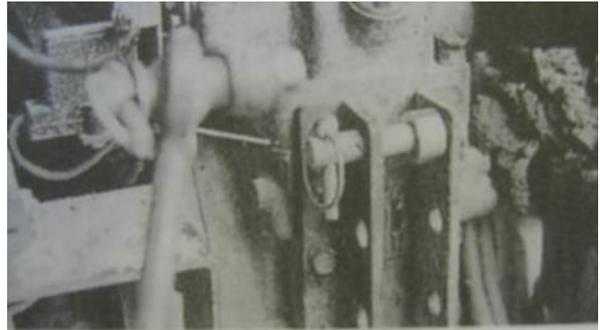
注意

- ・ トラクターにより自動昇降装置が付いている機種があります。必ずOFFにしてください。
または、油圧レバーはゆっくり上げトラクターのフェンダーやキャビン等に接触しないか確認してください。

- 1) トラクターのロアリンクの位置を作業機位置にしてください。
- 2) 畦塗機のロアリンクブラケットのピンに、トラクターのロアリンクを取り付けてください。
リフトレベルリングの無い方から装着してください。
- 3) トラクターの機種によってトップリンクホルダーの幅が広い場合があります。そのときは
畦塗機の付属部品のトップカラーを1個または2個入れてガタ付きを調節し、トップリンクを装着してください。



トップカラーを入れる



トップカラーを1個または2個入れる

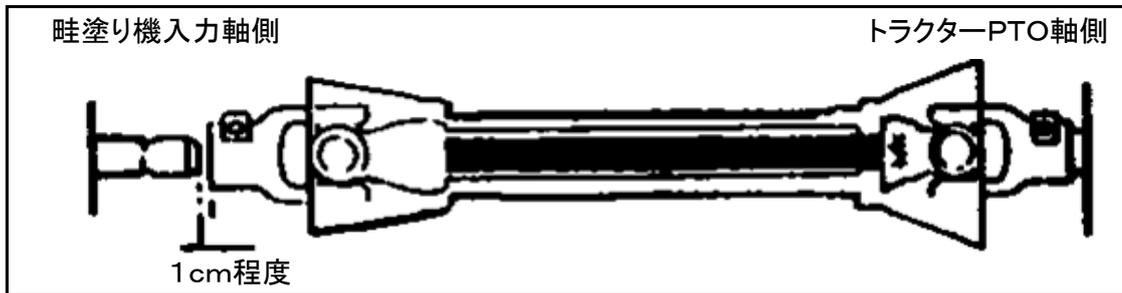
4) プロペラジョイントの取付

トラクターPTO軸と畦塗機の入力軸に、プロペラジョイントを取付けてください。

プロペラジョイントを一番縮めた状態で、畦塗機側の入力軸先端とプロペラジョイントの先端との間に

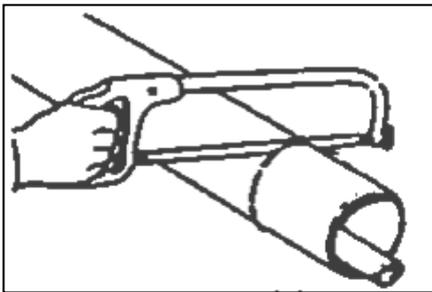
1cm程度の余裕を見てください。これ以上プロペラジョイントが長い場合は長い分を切断してください。

プロペラジョイントのノックピンがトラクター側、畦塗機側ともに正規にロックされているか確認してください。

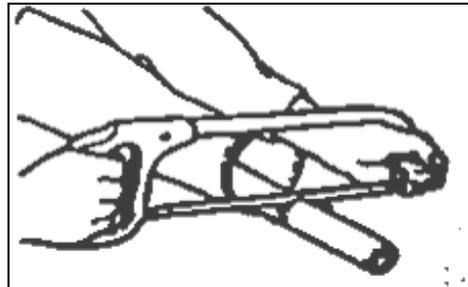


プロペラジョイントの切断方法

- ① プラスチックカバーを長い分だけオス・メス両方切り取ります。
- ② 切り取ったプラスチックカバーと同じ寸法だけシャフトの先端から切断します。
- ③ 切り口をヤスリ等でなめらかに仕上げシャフトにグリスを塗りオス・メスを組み合わせます。



プラスチックケースの切断



シャフトの切断

5) スタンドを取り外してください。

5. 標準3点リンクの取外し手順

警告

- ・ 畦塗機の取外しは平らで安定している場所で行ってください。
- ・ トラクターと畦塗機の周辺に人が入らないようにしてください。
- ・ 畦塗機の下に潜ったり足を入れしないでください。

注意

- ・ トラクターのPTO変速レバーを中立にし、取外してください。
誤操作でPTO軸が回転し事故を起こすおそれがあります。

- 1) 畦塗機にスタンドを取付けリンクピンで固定してください。(前後の向きに注意してください)
- 2) 畦塗機をゆっくり下げ機械が水平になるよう調節します。
- 3) トラクターのPTO軸からプロペラジョイントを外し、つぎに畦塗機の入力軸から外します。
- 4) 畦塗機のトップマストからトップリンクを外します。外れないときはトップリンクの長さを調節してください。
- 5) トラクターのロアーリンクを取り外してください。リフトレベルリングのある方から取外してください。
- 6) トラクターをゆっくりとまっすぐ前進させてください。

6. スライダーモーターの配線

警告

- ・ 直流12V以外では使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- ・ 差込カプラは根本まで確実に差し込んでください。火災や感電、事故の原因になります。
- ・ ケーブルに傷をつけたり、無理な力を加えたり、ひっぱったりしないでください。
感電や故障の原因になります。

注意

- ・ 連続使用しないでください。モーターが発熱し、火災や故障、破損等の思わぬ事故をまねくおそれがあります。
- ・ 作業終了後は電源までの配線は取り外してください。

- 1) 電源コード(バッテリーコード)を畦塗機からトラクターのバッテリーまで配線してください。
(+)プラス、(-)マイナス に注意してください。逆に取付けると故障する原因になります。
※ヒューズが付いている方が(+)プラスです。
※バッテリーコードには20Aのヒューズが付いています。
- 2) コントロールスイッチを畦塗機からトラクター運転席まで配線してください。

【 移動時の注意 】

⚠ 警告

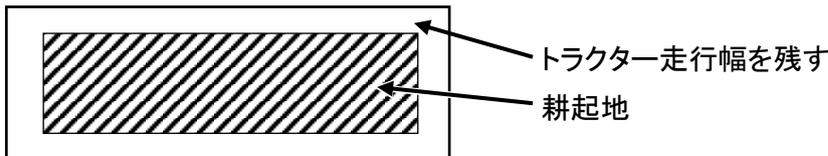
- ・ 畦塗機装着時には、公道の走行は禁止です。走行はしないでください。
必ず畦塗機を取り外して走行してください。道路運送車両法違反になります。
- ・ 傾斜地での高速・急旋回は転倒する可能性があり大変危険です。
トラクターの速度を落とし大きく回ってください。事故を起こすおそれがあります。
- ・ トラクターと畦塗機の周辺に人が入らないようにしてください。
- ・ 畦塗機の下に潜ったり足を入れないでください。

1. スライダーで格納位置にします。
2. トラクターの自動水平装置を解除してください。
3. トラクターの油圧昇降レバーは必ず上昇位置でロックしてください。
4. トラクターのブレーキペダルは左右連結して走行してください。

【 圃場の条件 】

1. 圃場の条件

- 1) 畦塗機で作業する前は、耕起をしないことをおすすめします。耕起してあるとトラクターの直進性が得られません。
秋に耕起する場合は畦際をトラクター走行幅を残して耕起するとよいでしょう。



- 2) 仕上がりの良い畦を塗るため、畦草、畦裾際のワラは取り除いてください。
- 3) 元畦の高さが30cm以下の作業が可能です。以上になると、側面のみの作業になります。

2. 圃場の水分条件

畦塗作業を行う上で、土の湿り具合が一番重要です。

- 1) 圃場の土を丸めて手の平で転がしても壊れずに、親指で軽くつつくと壊れる程度。このような条件で作業して頂きますと申し分のない畦ができます。



【 運転操作及び畦塗り作業時の調節の仕方 】

⚠ 警告

- ・ トラクターと畦塗機の周辺に人が入らないようにしてください。
- ・ 畦塗機の下に潜ったり足を入れないでください。
- ・ 畦塗機の調節をするときは、トラクターの駐車ブレーキをかけてPTO変速レバーを中立にしてエンジンを停止してから行ってください。
- ・ 回転部分に巻き付いた草やワラを取るときは、トラクターのエンジンを停止させてから作業を行ってください。

1. トラクター各部調節

	乾田時	湿田時
PTOレバー位置	2	1
エンジン回転数	1,800~2,000rpm	1,500~2,000rpm
作業速度	0.1~0.7km/h	1.0~1.7km/h

※ 速度に関しては、条件に左右されますので目安としてください。

作業速度が速すぎると、十分な土の量を得られず畦の締まりが弱くなります。

最初は遅く、畦ができることを確認しながら少しずつ速度を上げてください。

できた畦の表面が波打つときは、速度を上げるときれいに仕上がります。

乾き気味のときは遅く、湿り気味のときは速くと状況に合わせて対応してください。

2. 畦の高さ調節

1) 畦の高さの調節は、上面ドラムの交換により行います。

25cm上面ドラム 元畦が15cm~25cmの畦に使用できます。

30cm上面ドラム 元畦が20cm~30cmの畦に使用できます。

法面用上面ドラム 元畦が30cm以上の畦に使用できます。

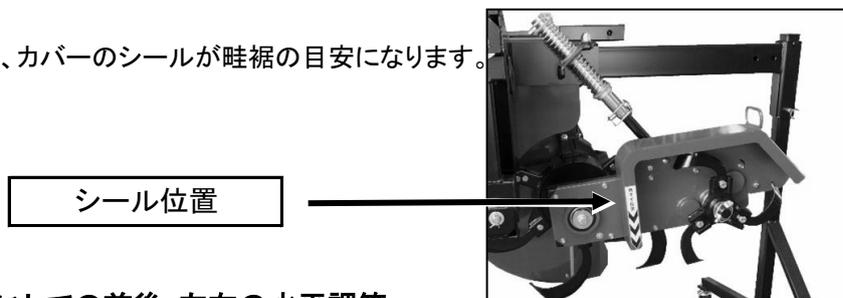
2) 元畦が上記ドラム範囲より低い場合、畦上面が十分に締まらない事があります。

3) 上面ドラムの交換は、ピン1本で止めていますので確実に止めてください。

4) 法面作業はサイドシャッターを外し、畦上面削り装置を上へ上げて作業してください。

3. 畦裾位置

畦上面削り装置、カバーのシールが畦裾の目安になります。



4. 進行方向にたいしての前後・左右の水平調節

※ トラクターを畦に合わせ機械を下げる際、PTOを回転させながらゆっくり下ろしてください。

勢いよく落とすと各部に無理な負担がかかり、機械の破損をまねくおそれがあります。

圃場に入り1m程作業したらトラクターを停止し、運転席から降りて畦塗機の姿勢を確認してください。

畦塗機本体が、作業状態で前後・左右水平になるように調節してください。

・ 前後の水平の仕方 アジャスターで調節してください。(P.11を参照してください)

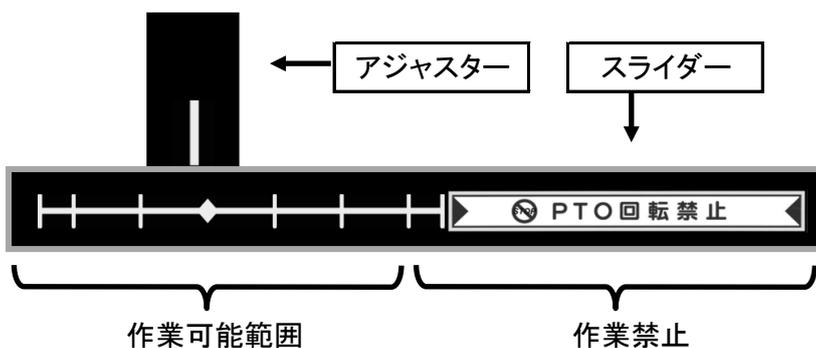
・ 左右の水平の仕方 トラクターで左右水平になるよう調節してください。

5. スライダーの調節

スライダーの調節は、トラクターのPTOレバーを中立にし調節してください。

アジャスターの確認シールを見ながら調節してください。

「PTO回転禁止範囲」内では作業はしないでください。(畦塗機部 ドライブシャフト破損のおそれがあります)



畦際にトラクターをつけてスライダーで調節すれば、畦合わせ・畦塗り作業が容易にできます。

6. 畦上面削り装置の調節

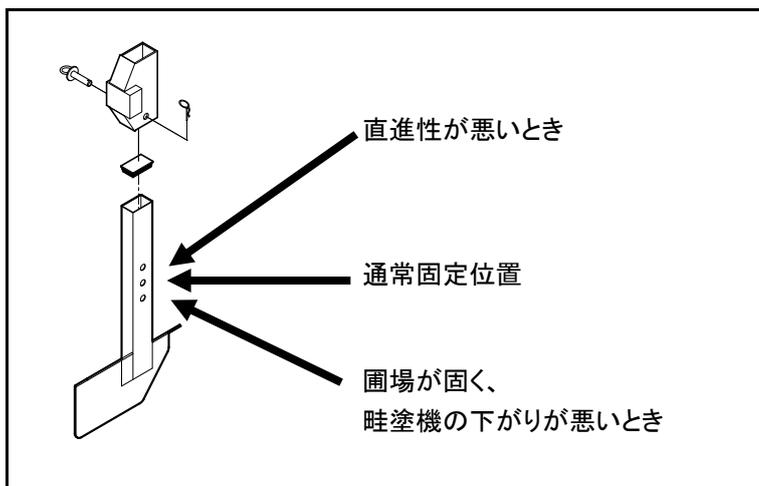
- 1) 畦上面に畦上面削り装置の爪の1/3が当たるようにあわせてください。
爪を下げすぎると元畦より低くなり過ぎたり、場合によっては畦上面の締まりが弱くなります。
- 2) 中畦作業時の復作業では、上面を削らない方が良い場合もあります。
- 3) 畦草が長すぎると十分に効果が得られない場合があります。
- 4) 作業中、石・境界杭・側溝のコンクリートにご注意ください。**圃場に石が多い場合は故障の原因になります。**

リンクピンで削り位置の変更を行います。



7. 安定板の調節

通常、安定板は真ん中の位置で使用してください。
耕起してあったり、雨後で直進性が悪いときは安定板を下げて使用してください。
圃場が固く、機械の下がりが悪いときは安定板を上げてください。

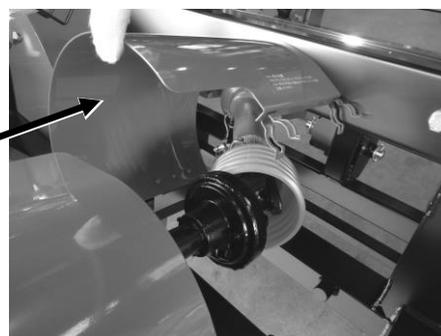


8. シャーボルト付ドライブシャフト

ドライブシャフトにはシャーボルトが入っています。
石などの障害物などで想定以上の負荷がかかった際、機械の保護の為にシャーボルトが切れるようになっています。
ひんぱんにシャーボルトが切れる場合は、作業を中断し以下のことを確認してください。

- ・ 草、ワラ、ビニールなど異物がロータリーに巻きついていないか。
- ・ 作業箇所には石、杭など異物がないか。

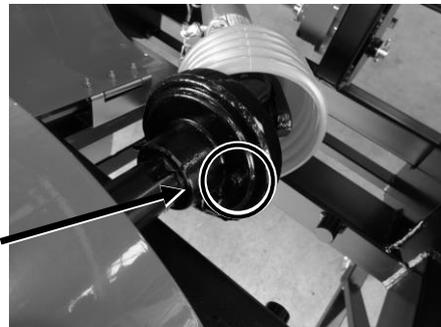
カバー



交換方法

- 1) トラクターのエンジンを切りPTOが中立状態にあることを確認してください。
- 2) カバーを開けて折れているボルト・ナットを取り除いてください。
- 3) シャーボルトを取り付ける穴を合わせボルトを入れ、ナットを締めてください。
- 4) カバーを閉めます。

シャーボルト位置



シャーボルト

ボルト(半ネジ) M6×P1.0×35(10.9)

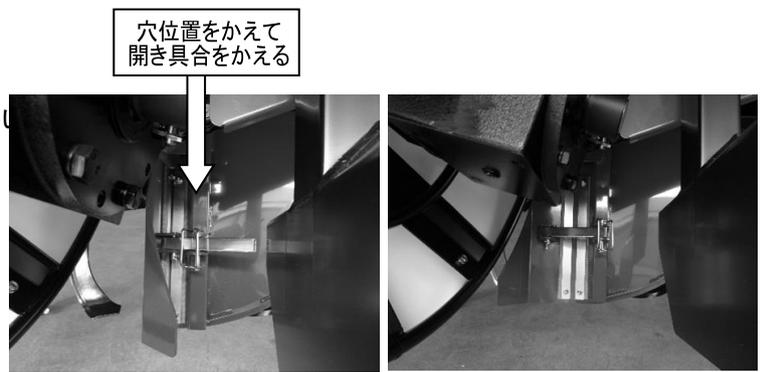
ナイロンナット M6×P1.0

必ず富士トラクター製作所純正部品を使用して下さい。



9. ガイドプレートの調節

ガイドプレートの開閉により、ホッパー内の土の量を調節できます。ホッパーに土がたまりすぎる場合はガイドプレートを開け、土をホッパーから逃がしてください。土が足りない場合はガイドプレートを閉じてください。

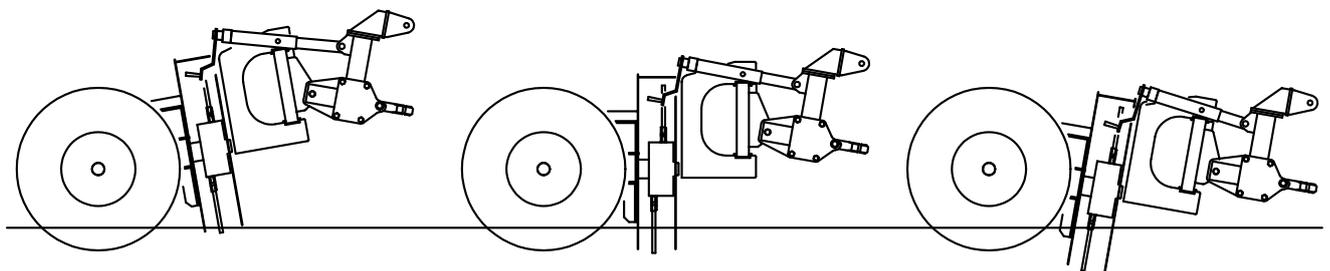


10. 土取り量の調節（アジャスター調節）

アジャスターを伸縮することで土の量を増減調節することができます。

土の量が多いときは、アジャスターを伸ばしてください。

土の量が少ないときは、アジャスターを縮めてください。



アジャスターを伸ばし
後傾姿勢にすることで
土量を減らせます。

標準姿勢(水平)

アジャスターを縮め
前傾姿勢にすることで
土量を増やせます。

11. サイドシャッターの調節

- 1) 装着の上面ドラムによってサイドシャッターの取付位置が違います。
上面ドラムに合わせて調節してください。

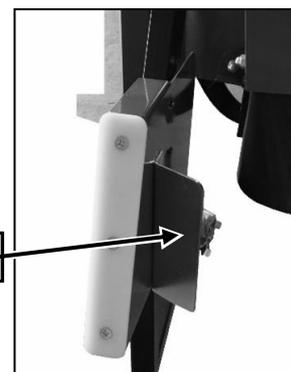
外側: 30cmドラム位置

内側: 25cmドラム位置



- 2) 乾田時、サイドシャッターと上面ドラムの間から土があふれる場合サイドシャッタープレートを装着してください。
(出荷時点では予備箱に入っています)

サイドシャッタープレート



12. サイド尾輪の調節(オプション)

通常、尾輪は上げて使用してください。

耕起してあったり、雨後で直進性が悪いときは

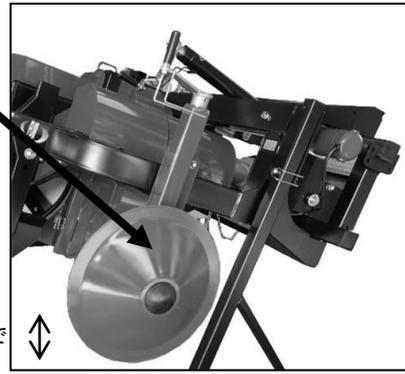
尾輪を下げて使用してください。

5～10cm程度、土にささった状態で使用してください。

圃場が固く、機械の下がりが悪いときには

尾輪を上げてください。

サイド尾輪



5～10cm程度、
土にささった状態で
使用してください。

【 作業時の注意 】

⚠ 注意

- ・ 畦塗機の改造はしないでください。純正部品以外は使用しないでください。
事故や機械の破損をまねくおそれがあります。

【 手入れと点検の仕方 】

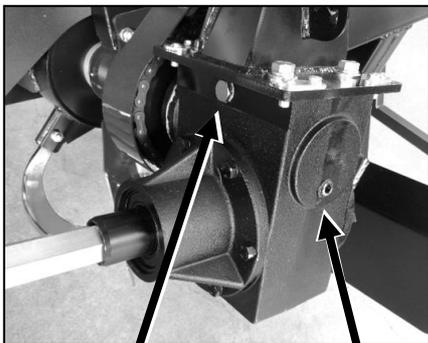
⚠ 警告

- ・ 点検・整備・修理・掃除を、トラクターに装着している状態で行うときは、
トラクターのエンジンを停止してください。
機械に巻き込まれて事故を起こすおそれがあります。

⚠ 注意

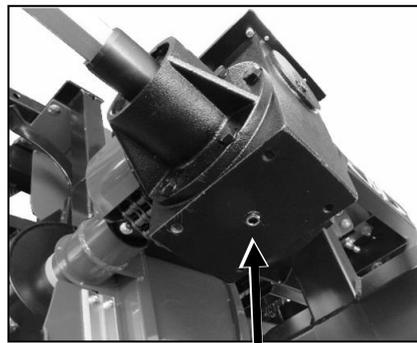
- ・ 交通の障害にならず安全で、機械が倒れたり動いたりしない、
平らで安定している場所で行ってください。
- ・ 畦塗機を使用する前と後には、点検・整備をしてください。
- ・ 回転部にワラや草などがからみついたり、詰まった場合は
作業を中止しエンジン停止後、取り除いてから作業してください。
放っておきますと、機械の損傷をまねくおそれがあります。

1. オイルの点検



給油口

オイルゲージ



排油口

年1回点検

3年に1回交換

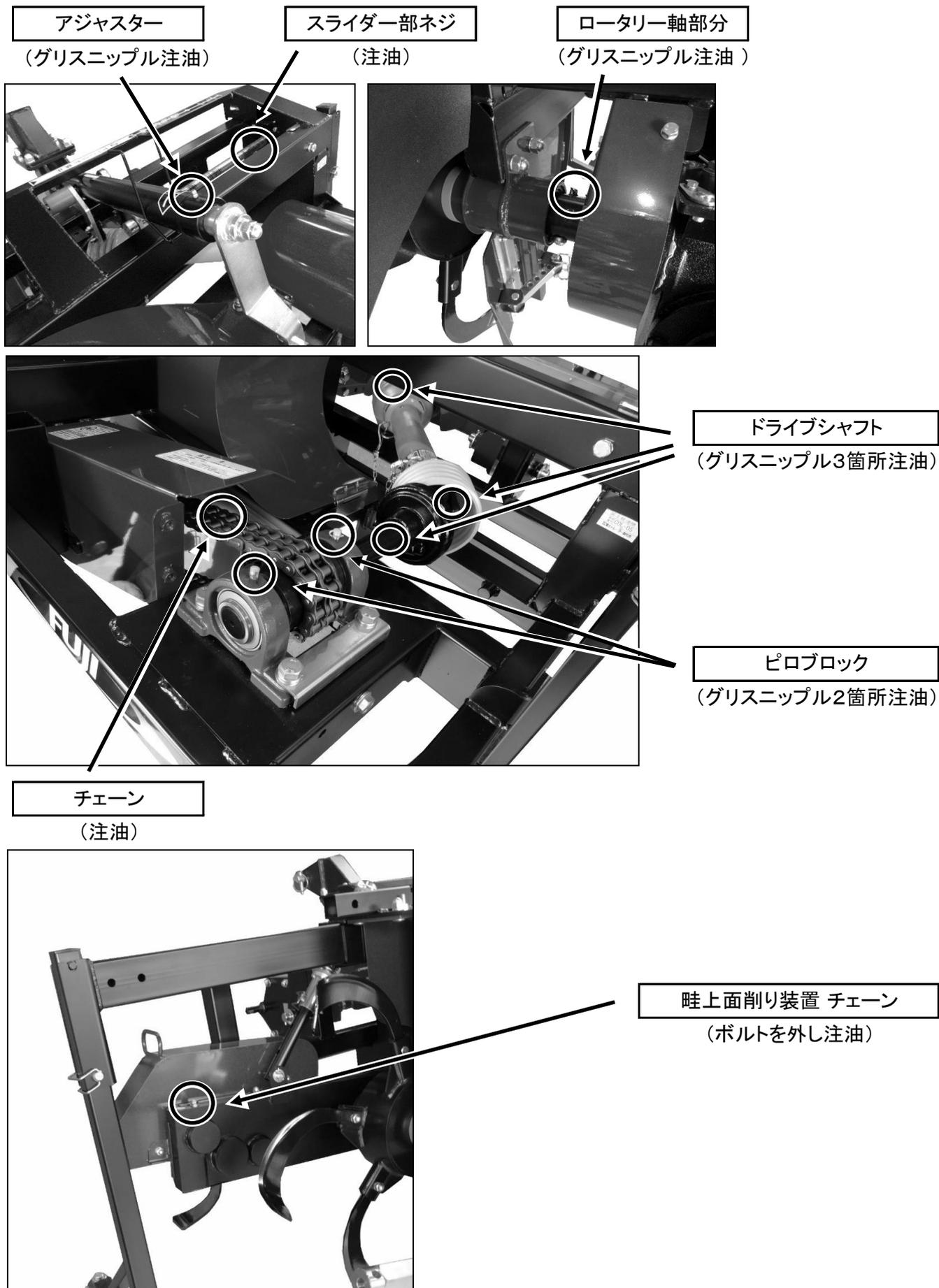
ギアオイル

ISO VG 320(#90)

約1.4リットル

(下から見た写真)

2. グリス・オイルの点検



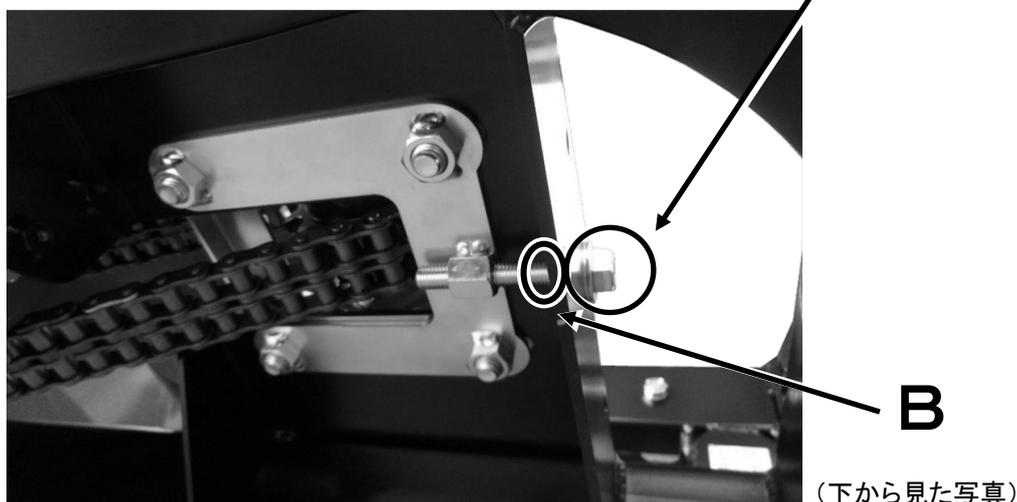
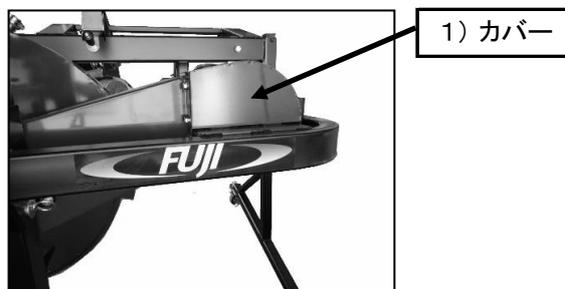
3. チェーンテンションの点検

チェーンが緩んでいないか確認してください。

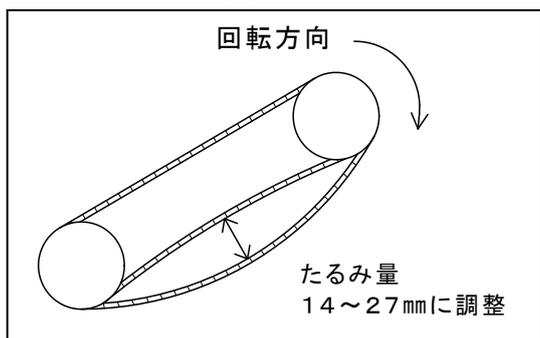
- 1) ご使用されますとチェーンは伸びます。作業前には必ずチェーンの張り具合を点検してください。
- 2) チェーンが伸びたままのご使用はチェーン切れ・異音の原因になります。

「ロータリーチェーン張り手順」

- 1) カバーを外してください。
- 2) Aのボルト4箇所を緩めてください。
- 3) Bのナットを緩めて、Cのボルトでチェーンを張ってください。
チェーンのたるみ量は14～27mmに調整してください。
- 4) 調整後、Bのナットを締めてください。
- 5) Aのボルト4箇所を締めてください。



チェーンのたるみ調整



※ チェーンの張りすぎも故障の原因になります。
チェーンのたるみ量に注意してください。

4. 水洗い

作業後はきれいに水洗いをしましょう。

注意

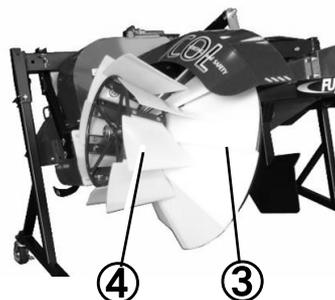
モーターや電気配線などの電気部品には、水をかけないでください。
故障の原因になります。

5. 樹脂羽根の保管

樹脂の特性を保持する為に、長時間使わない時には直射日光があたらないようにしてください。

 野外放置

6. 消耗品について



- ① 爪(土上げ用)
- ② 爪(上面削り用)
- ③ 側面ディスク羽根
- ④ 上面ドラム羽根
- ⑤ シャーボルト

ボルト(半ネジ) M6×P1.0×35(10.9)

ナイロンナット M6×P1.0

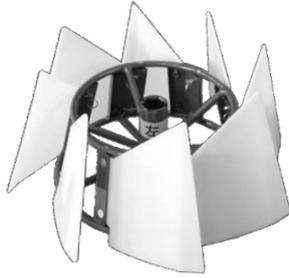


【 オプション 】

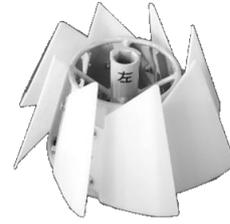
乾田用(樹脂)



側面ディスク



上面ドラム(25cm用)

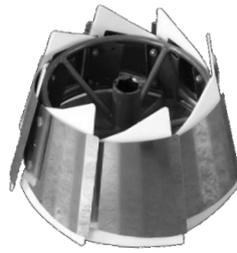


上面ドラム(30cm用)

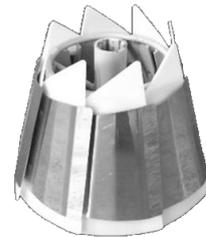
湿田用(ステンレス)



側面ディスク



上面ドラム(25cm用)



上面ドラム(30cm用)

おすすめの組み合わせについては、現地営業担当者にお問い合わせください。

法面ドラム ・ サイド尾輪

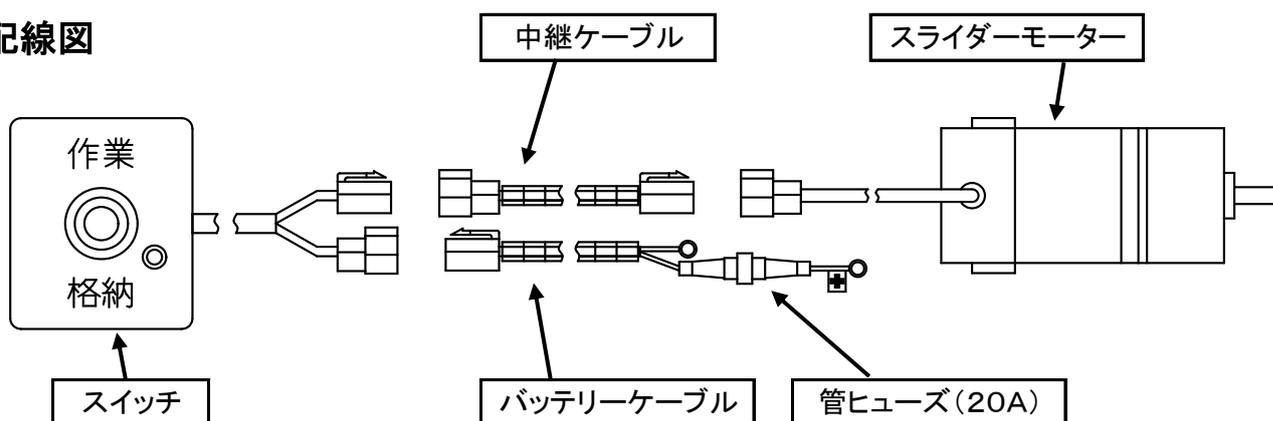
【 ワンポイントアドバイス Q&A 】

こんなときは	こう処置してください
<p>1. 畦が固く締まらない</p>	<p>1) 圃場は乾いていますか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 白く乾いたホコリがたつような圃場では、湿りが無いので土と土がくっつかず畦が固まりません。 <p>このような条件のときは作業しないでください。一雨か二雨後の適度な湿り状態になってから作業してください。</p> <p>2) 土の水分が多くタイヤが沈んでいませんか</p> <p>水分が多く、トラクターのタイヤが10cm以上沈む圃場では畦はできません。</p> <p>3) 作業速度は適切ですか</p> <p>P.9 を参照してください。</p> <p>4) 長草は生えていますか</p> <p>畦際に長いワラは飛散していますか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 長草や長いワラが畦際にあると、畦塗りをした畦の土と土の間に長草や長いワラが入り、サンドイッチ状態になって畦は固く締まりません。 <p>長い畦草は刈払い、畦際の飛散ワラを取り除きましょう。</p>
<p>2. 畦上部肩が固く締まらない</p>	<p>1) 畦の高さに適した上面ドラムを使っていますか</p> <p>元畦の高さに適したドラムでない場合、畦上面が十分に締まらないことがあります。</p> <p>(P.9 を参照してください)</p> <p>2) 土取り量の調節は適切ですか</p> <p>P. 11 を参照してください。</p>
<p>3. 畦の幅が広がってしまう</p>	<p>1) 安定板のセット位置は圃場に合っていますか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 湿地帯の圃場で全面耕起されていると、トラクターを元畦裾にセットしても走行しだすと車輪はどうしても田の中へ入っていきます。 <p>秋に耕起する場合は、畦際をトラクター走行幅を残して耕起するとよいでしょう。(P. 10を参照してください)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ホッパーに土が溜まりすぎたときも畦が大きくなります。 <p>次項を参照してください。</p>

こんなときは	こう処置してください
<p>4. メインホッパー内で土が たまってトラクターが曲がる</p>	<p>1) ガイドプレートの開き具合は適切ですか P.11 を参照してください。</p> <p>2) 圃場が湿り過ぎていませんか ・ もう少し乾くまで待ってから作業して欲しいのですが、地域によってはこれが最も良い条件でこれ以上の乾きが無いという場合も有ると思います。このような場合は作業速度を上げ、軽く畦をなでる感じで作業してください。</p> <p>3) アジャスターでの土取り量調節をしてください 後傾にし、土取り量を減らしてください。 (P.11 を参照してください)</p> <p>4) トラクター油圧を調節して、畦塗機を若干上げて土を逃がしながら作業をしてください</p>
<p>5. 圃場の条件は良いが 土が足りず畦ができない</p>	<p>1) 作業速度は適切ですか P.9 を参照してください。</p> <p>2) ガイドプレートの開き具合は適切ですか P.11 を参照してください。</p> <p>3) 畦塗機は十分に下がっていますか 安定板(P.10)、サイド尾輪(オプション P.12)を参照してください。</p> <p>4) 土取り量の調節は適切ですか P.11 を参照してください。</p>
<p>6. 作業中、畦塗機から異音 がする</p>	<p>1) グリス・オイルの点検はしていますか ロータリー軸部分、内部の油分が飛んでしまうと異音が発生することがあります。 その場合、ロータリー軸部にグリスを注油してください。 (P.13を参照してください)</p>
<p>7. スライダーモーターを 動かすと異音がある</p>	<p>1) グリス・オイルの点検はしていますか スライダー部、ネジの油分が飛んでしまうと異音が発生することがあります。その場合、ネジに注油してください。 (P.13を参照してください)</p>

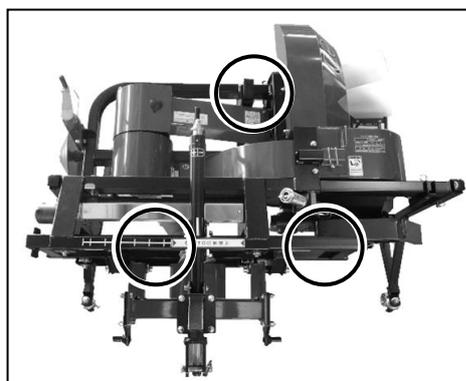
こんなときは	こう処置してください
<p>8. スライダーモーターが動かない</p>	<p>1) バッテリーケーブルのヒューズは切れていませんか (下図参照 管ヒューズ(20A))</p> <p>2) 配線カプラの挿入の不良はありませんか ・ 抜き差しをして確認をしてください。</p> <p>3) バッテリーの性能が低下していませんか ・ バッテリーの性能が低下していると動かない場合があります。 低下している場合バッテリーの充電、又はバッテリーの交換をしてください。</p> <p>4) スライダーモーターが動かない場合の移動方法 ・ スライダー脇のゴムキャップを外し、32mmの六角カラーを回すことで移動させることができます。</p> <div data-bbox="655 712 1433 969"> </div>

配線図



畦塗機の吊り位置

吊り位置シール部 (図の○印)
三箇所を吊るとバランスが取れます。
詳しくは畦塗機に貼られたシールを参考に
安全に作業を行ってください。



⚠ 警告

畦塗機を吊り上げる場合は、周辺に人が入らないようにしてください。
畦塗機の下には絶対に入らないでください。
誤った箇所を吊らないでください。事故や機械の破損をまねくおそれがあります。



株式会社 富士トレーラー製作所

〒959-0310 新潟県西蒲原郡弥彦村美山6606番地
TEL(0256)94-5551(代) ・ FAX(0256)94-5555
<http://fuji-trailer.co.jp>

秋田営業所	／	〒014-0073	秋田県大仙市内小友字中沢263-4	TEL (0187)68-4511 (代) FAX (0187)68-4855
鷹巣営業所	／	〒018-3301	秋田県北秋田市綴子字佐戸岱5-21	TEL (0186)63-2384 (代) FAX (0186)63-2385
酒田営業所	／	〒998-0852	山形県酒田市こがね町2丁目1番地の10	TEL (0234)23-3791 (代) FAX (0234)23-3790
古川営業所	／	〒989-6135	宮城県大崎市古川稲葉字浦田137-2	TEL (0229)25-6536 (代) FAX (0229)25-6537
大宮営業所	／	〒331-0811	埼玉県さいたま市北区吉野町2丁目268番地3	TEL (048)652-3877 (代) FAX (048)652-0729
新潟営業所	／	〒959-0310	新潟県西蒲原郡弥彦村美山6606番地	TEL (0256)94-3141 (代) FAX (0256)94-5734